

# 日本計量新報

計測と科学  
発行所  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

**Yamato**  
業界初の液晶表示機能を  
搭載して作業効率アップ  
デジタル式上皿自動はかり

**"UDS-1V/1VD"**



天和量衡株式会社  
電話 076-918-9577

## (社)日本電気計測器工業会 「電気計測器の中期予測2005～2009年度」発表

### 05年度は落ち込むも、以降は緩やかに成長

#### 情報通信、自動車産業の需要拡大

(社)日本電気計測器工業会(竹下晋平会長) 需要予測委員会は12月9日、「電気計測器の中期予測2005～2009年度」を発表した。2005年度売上高見込みは半導体関連の設備投資抑制から、04年度実績に比べ4.2%減となるが、06年度以降から回復基調となり、09年度までは徐々に回復するものとし、05年から09年の5年間の年平均伸び率を2.5%と予測した。

中期予測にあたっては、同会の自主統計データをもとに、マクロ的経済指標や関連する産業分野の趨(すう)勢などを加味し、会員企業へアンケートを行うことで、予測の精度を高めた。



従来は生産ベースとしていたが、今回から電気測定器及び指示計器では売上額を、PA計測制御機器では受注額を、その他は生産額を主な予測指標とした。この中に海外拠点の数値は含まれていないが、海外拠点における売り上げ実績額を別章で紹介している。

日本で唯一のトラック用  
**マットスケール** 軸径 30±

日本ダイナマット株式会社  
〒178-0136 東京都足立区新島3-1-1  
TEL 03-5965-2031

シユーム機器や携帯電話、デジタルカメラなどの部品在庫調整も一巡し、SOCテスト(ミックスドシングルICテスト)、ロジックICテスト)投資は復活する一方、05年度はメモリ価格が下

落、メモリテスト設備投資が抑制されている。これは、半導体メーカーが低コストで製造能力を高

めることができる300ミリウエハ工場の立ち上げや既存施設の転換を行い、メモリが供給過剰に陥ったことによる。ただ、テレビの地上デジタル放送普及加速や、08年開催の北京オリンピック需要が見込まれることから、中期的には、パソコンやデジタル家電の堅調な推移、第3世代携帯電話や無線LAN、FTHH(光ファイバー通信)普及の本格化、さらに、カーエレクトロニクスなどの需要拡大が期待できると予測した。

### 特定標準器の指定、取消、校正範囲の拡大

12月1日付告示、光減衰量、電圧、電力及び電力量、硬さ

経済産業省は、計量法の規定に基づき、特定標準器の指定、取り消し、校正等の実施を12月1日付で告示した。

新たに光減衰量の標準供給を開始、特定標準器(日電検)が保有する特定標準器の自己校正型変

電力及び電力量について、日電検が保有する特定標準器のトルクバランス型電力用交直比較器、同じく特定副標準器である時分割型電力測定装置、高速パルス型標準電力量計を取り消し、特定標準器として同所が開発した電力電力量校正装置を新たに指定する。

#### 発行日変更のお知らせ

新年特集号発行のため、次のとおり変更致します。新年特集増大号第1集、第2集ともに1月1日付け(通常の2005年12月25日、06年1月1日号)で発行致します。

日本計量新報社

冊子「電気計測器の中期予測2005～2009年度」発表している。

期予測、実績トレンド、海外売り上げ分析の全9章で構成される。

価格は会員31500円、一般42000円(ともに税込送料別)。問い合わせは同会(電話03-3502-10601)まで。

#### 今週の主な記事

「電気計測器の中期予測2005～2009年度」発表  
特定標準器の指定、取消、校正範囲の拡大を告示  
特集・2005年度近畿計量大会  
チノール社長インタビュー(4)  
私の履歴書・齊藤勝夫(9)、社説 計量とくちくちメモ  
特集とくちくちの計量  
島津製機器に不具合、追悼・堀江秀雄氏

①面  
②③④面  
⑤面  
⑥⑦⑧面  
⑨面

MRA IAJapan JCSS 0165

当社は、測定基準としてJIS Q 17025 (ISO/IEC 17025) を用い、測定メーカもISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関(AJapan)は、アジア太平洋試験所認定協力機関(APLAC)及び国際試験所認定協力機関(ILAC)の相互承認に署名しています。

分銅・おまりのJCSS校正と各種精密分銅の供給メーカー

JCSS校正は短納期且つ適正価格で行います。

お問い合わせ先

〒304-0031茨城県下妻市高道根4219-2  
TEL(0298) 43-7021 FAX(0298) 43-8150  
http://www.taisho-balance.co.jp

株式会社 大正天びん製作所